

# マリンスライフ

[ Vol. 268 ]

夏特別展

## さとうみラボ



現在、夏特別展としてさとうみ科学館の2階実験室で「さとうみラボ」を開催しています。カブトガニをはじめ、マダコ、タツノオトシゴ、イシガニ、メジナなど、江田島の近海に生息している生き物を中心に展示しています。

特別展のコンセプトは「身近な生き物を間近で観察」です。生き物の体のつくりや生態をじっくり見ることができるよう、ラボ内では、実験机に水槽を置き、水槽を囲むように椅子を設置しています。椅子に座って生き物を見ながらゆったり過ごすもよし、机を使ってスケッチするもよし、思い思いに過ごしてください。水槽で飼育されているからこそ“観察しやすいもの”があります。例えば、ガラス面にはりついているヒトデを見ると、お腹側にたくさんの半透明な管のようなものがあります。これは「管足（かんそく）」といってヒトデの足で、この管足を使って移動したりエサを捕まえたりしています。ガラス越しに観察することで、管足一本一本をヒトデがどのように動かしているのか見ることができます。

生き物研究の基本は観察です。生きている生き物の様子を直接観察することで、図鑑からは得ることのできない実物の色や動き等の情報を得ることができます。まだ科学研究のテーマが決まっていない人や進め方で悩んでいる人も、「さとうみラボ」で科学研究のヒントを探してみてもいかがですか。





# マリン・アドベンチャーで里海を体験

今年度の「江田島里海学習（マリン・アドベンチャー）」も無事終了しました。この学習は、江田島市内の全小学5年生を対象に、身近な自然である「里海」を舞台として、児童自らが直接自然と触れ合うことで、ふるさとの魅力を実感してもらいたいという目的のもと、平成23年度より実施しているものです。江田島市で育つすべての子どもたちが「ふるさとの自然」を体験する、江田島市ならではの「特色ある教育」です。また今回から、日程が合えば複数校で実施し、学校混合班で活動することで、互いに交流を図るようにしました。

## 江田島里海学習（マリン・アドベンチャー）

### <ねらい>

- ★里海の生き物に触れる体験活動を行うことにより、身近なふるさとの自然の多様性やすばらしさに気付かせ、知的好奇心や探究心を育てる。
- ★自ら課題を発見し、科学的に探究する能力を養う。

「マリン・アドベンチャー」は、さとうみ科学館に集合し、午前中の事前レクチャー（講義）から始まります。講義では、海辺の生き物の特徴や野外観察のポイント、午後から行うプログラムのルールやヒント、安全面の話などを聞きます。その後、昼食のお弁当を食べて海岸に移動したら、いよいよ午後からは「マリン・アドベンチャー」のスタートです。

舞台は、大柿町深江にある釣附海岸。茶臼山周辺に4つのチェックポイントを設置し、各ポイントで出されるクイズ形式の課題にチャレンジしていくことで、生き物の特徴や海辺の環境について学びます。班で協力しながら、形を比べて分類したり、砂を掘ってコメツキガニを探したり、藻場の役割を考えたりと、直接自然の中に足を踏み入れてふるさとの自然の豊かさを実感していました。もちろん、移動中も自由に生き物を採集し、最後にみんなで見つけた生き物を分類しました。海でのプログラム時間は1時間程度でしたが、多種多様な生き物を確認することができました。

海での活動後、再びさとうみ科学館に戻り、今回の体験を通して学んだことや気づいたことなどの感想を川柳で表現し、無事終了となりました。今回の活動を振り返って、「他の地域では絶滅している生き物が、どうして江田島にはいるのか不思議に思った」、「コウイカが、まわりの風景にとけこむのはなぜだろうと思いました。調べてみたい。」、「海にはいろんな生き物がいて、岩の間や砂の中にいることがわかりました。」といった感想がありました。

生物の多様性について体験を通して学ぶことで、身近な海が自然豊かな場所であることをあらためて感じてもらったのではないかと思います。今回抱いた疑問をきっかけに、里海の自然や生き物、もちろん理科の内容にも興味を持ち、さらに理解を深めていてもらいたいと思います。

## 第1回 6月5日（水）



江田島小学校

## 第2回 6月20日（木）



大古小学校

## 第3回 7月3日（水）



中町小学校・三高小学校

## 第4回 7月4日（木）



切串小学校・鹿川小学校



①

コメツキガニを捕まえてオスとメスの違いを説明しよう！



—ねらい— 事前に学習したこと(カニの特徴)を活用し実践する

②

アマモ場で動く生き物を捕獲し、小さな生き物がアマモ場で暮らす理由を考えよう！



—ねらい— 生き物にとっての藻場の役割を知る

釣附海岸に生息する生き物を探しながら、4つのポイントで課題をクリアする！



③

ビンゴカードにある生き物を探し、ビンゴを完成させよう！



—ねらい— 生物の特徴(形)を見極める

④

カメノテを探しどんな場所にいるのか答え、摂餌方法について考えよう！



—ねらい— 環境指標生物について知る

「111」1句」

マリン・アドベンチャーに参加して感じたことを一句読んでもらいました。その一部を紹介します。

- ・全員でとても楽しく、ゆたかだね
- ・生き物は自然をたもって生きています
- ・さとうみは個性あふれる所だな
- ・海の中生き物いっぱい、タコもいる
- ・里海で見つけた生き物たいせつに
- ・未知の国みぢかな海に、生命がつるづきで、さかなをたくさんみつけた
- ・アメフラシおこっけい、むらさきに
- ・海の中ふしぎたくさんおもしろい
- ・海行つた四力所めぐって、いっぱい
- ・さとうみで岩を動かしみつけたよ
- ・さとうみでクイズをきいて、こたえたよ
- ・砂浜に、ぼっかり開いた穴の中
- ・カニ見つけるぞ、目をこらすんだ
- ・ゲットだぜ、終了間近にウミウシを
- ・三番で、生き物さがし、ニビンゴだ
- ・クサフグは、はらをさわると、ふくらむよ
- ・イシガニが、とても大きく、ビッグリだ
- ・江田島は、いろんな生き物、パラダイス
- ・のがしたぞ、とても速い、さかなさん
- ・里海で、いろいろ知った、すごかった
- ・友達と海に入って、足ぬれた
- ・はじめての、里海学習、いいたいけん

◆ 第195回自然観察会 ◆

# ウミホテル観察会

夜の海に輝く“宝石”「ウミホテル」。ウミホテルの観察は、観察会でも人気のプログラムの一つです。簡単なしかけで、誰でも簡単に採集することができます。神秘的な自然の光を楽しみたいと思います！きっと感動しますよ！

日 時：令和6年9月28日（土）  
18：30～20：00

受付時間：18：00～18：30

（受付と駐車誘導を行います）

集合場所：江田島町津久茂 荒代（あらしろ）海岸

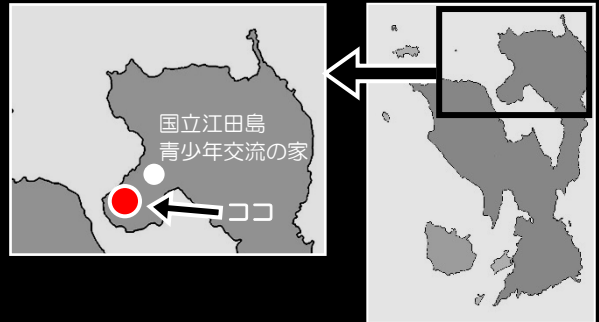
観察場所：荒代（あらしろ）海岸の棧橋

申し込み：先着20組

令和6年9月26日（木）までに

事務局へお申し込み下さい。

【注意】 小中学生は、必ず大人の人と一緒に参加して下さい。



☆持ってくるもの☆  
懐中電灯、タオル など

## 潮見表 9月の観察に適した日時（干潮時刻と潮位）

9月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
時分	2:57	3:27	3:55	4:22	4:49	5:15	5:42	6:09	6:38	7:10	7:49	8:51	10:43	1:03	1:48
cm	141	123	109	97	87	79	75	75	80	90	105	121	125	197	165
時分	14:56	15:31	16:02	16:31	16:58	17:26	17:54	17:54	18:56	19:34	20:32	23:03		12:32	13:38
cm	61	52	49	53	63	78	98	98	149	179	208	221		104	71
9月	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
時分	2:25	3:01	3:37	4:14	4:50	5:26	6:03	6:41	7:22	8:16	9:58	0:28	1:24	1:59	2:29
cm	133	101	71	47	31	24	29	45	70	101	126	201	172	144	120
時分	14:27	15:11	15:51	16:30	17:08	17:46	18:24	19:06	19:57	22:00		11:54	13:05	13:53	14:32
cm	41	21	15	24	46	80	119	159	196	219		125	109	91	77

cmの数字が小さいほど、よく潮が引きます。

令和6年 潮汐表（海上保安庁）から

潮位30cm未満（網掛けにしている日）が調査に適しています。

### 事務局だより

- 事業支援&テレビ放送・・・テレビ関係の支援が2本ありました。①広島テレビの「海ッション・インポッシブル」の一環として制作されている番組「せとうちコットン」。その取材が7月18日にあり、お笑い芸人コットンとともに海に行きましたよ！（8・9月放送予定）。②日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環で、7月21日・22日に行われた「瀬戸内子ども調査団 in 江田島〜島の宝から里海・里山を学ぶ〜」。瀬戸内海・干潟の役割について調査するというので、講義と野外調査を行いました！（経過報告はRCCテレビ・ネット上で随時放送予定です）



- 休日開館日（9月）のお知らせ・・・9月も毎週土曜日を開館。9：30～17：00（入館は16：30まで）です。詳しくは事務局までお問い合わせください。

江田島市教育委員会 教育部 大柿自然環境体験学習交流館

## さとうみ科学館 Satoumi Science Museum (SSM)

〒737-2214

広島県江田島市大柿町深江1073番地1

TEL：(0823) 57-2613

FAX：(0823) 40-3100

メール：satoumimail@yahoo.co.jp

HP：『さとうみ科学館』で検索

### ◆事務局スタッフ◆

館長：西原 直久  
専門員：平山 良太  
学芸職員：鎌崎 賢三  
運営指導員：下中 茂樹  
運営指導員：峯 哲士  
支援員：木村 さつき  
里海ナビゲーター：守本 怜矢



（友の会会員）

シニア 180名

ジュニア 141名

◆あとがき◆まだカブトガニの産卵を確認することはできていませんが、7月と8月の調査で幼体や幼体の脱皮殻を見つけました。脱皮殻の中には去年確認された個体と同一のものもありました。彼らの成長を感じることができて嬉しかったです。（鎌崎）